

2013年度 全日本社会人ホッケー選手権大会 運営規程（抜粋）

1. 大会運営規程

2013年度 全日本社会人ホッケー選手権大会（以下「本大会」という）は、この規程による。

2. 準拠規程

本大会の運営は、本規程に定める場合を除き、2013年度（公社）日本ホッケー協会「競技運営規程（2013年4月1日付）」及び競技規則は2013年度同協会「競技規則」による。

3. エントリー数

参加選手登録及び各試合のエントリー（選手）数は、22名以内とする。

4. 試合時間

試合時間は、前半35分、後半35分、計70分とし、その間に5分間の休憩をおく。

5. 延長戦

準決勝戦・3位決定戦・決勝戦においては、規定の時間に勝敗が決しない場合、次に定める延長戦を行う。

- (1) 規定時間の後、5分間の休憩をおき、改めてトスを行いサイド（又はボール保持）を決める。
- (2) 時間は前・後半各7分30秒間とする。両チームは前半終了時点で、休憩時間をおかずにサイドをチェンジする。この延長戦は、何れかのチームが得点した時点をもって終了するものとし、得点したチームが試合の勝者となる。
- (3) 延長時間内に勝敗が決しない時には、6. に定めるSO戦を行う。

6. シュートアウト戦（SO戦）

規定時間内に勝敗の決しない場合、および5. 延長戦においても勝敗の決しない場合は、「シュートアウト戦 実施規程」に定める方法によりSO戦で勝敗を決定する。

7. 使用ボール

本大会に使用するボールは、2013年度（公社）日本ホッケー協会公認ボールを使用する。

8. その他

- (1) 出場チームは、試合開始30分前までにエントリーフォームを総務席エントリーフォーム受付場所へ1部提出する。
- (2) ゴールキーパーの特権を有するプレーヤーのユニフォームの色は、フィールドプレーヤーのユニフォームの色と異なっていること。
- (3) PC時の保護用手袋、フェイスマスクの使用は認める。ただし、使用後はゴールの後ろに置くものとする。試合前に必ずTDの許可を得ること。
ただし、医学的理由等が認められる場合はTDの許可の元、常時着用可能。
- (4) スティックの湾曲の深さは25mm以内であること。ヘッドの100mm以内は白色・緑色のテープ等による加工は禁止する。
- (5) スティックには、スティックシールが貼り付けられていること。
- (6) チームベンチは、組合せ番号の若いチームが赤い紐のついたベンチとする
- (7) 手当てする者2名は、コーチングはできない。又、後列の椅子に着席すること。
- (8) 大会において、給水タイム実施の判断はTDが行い、試合においてはジャッジ席側の審判員の合図により行う。(詳細は平成23年3月9日付 暑熱下における試合での飲水について(通知)参照)
- (9) 本大会においては平成25年3月1日付、技術委員会委員長通達における下記5項目について実施する。
 - ①グリーンカードによる2分間の退場。
 - ②PCフライング者をセンターラインへ戻す。(PC一回のみ)
 - ③PC球出しのフェイントは球出しを交代させ、PCアゲインとする。
 - ④試合が同点で終了の場合、PSに替えてSOを実施。
 - ⑤準決勝以上は、サジェスチョンアンパイアを置く。
(チャレンジ権は1回とする。)また平成25年6月12日付、技術委員会委員長通達における下記2項目についても実施する。
 - ①フリーヒットの要件が適用される再開プレイは、ドラッグや直接ドリブルも可。
 - ②一時退場処分選手が再入場を許されたとき、PC実施中であっても入場可。